

世界の留学需要 - GSM2025 に基づく予測と日本留学市場の展望 - 要 約

Asia SEED 2005.3.31

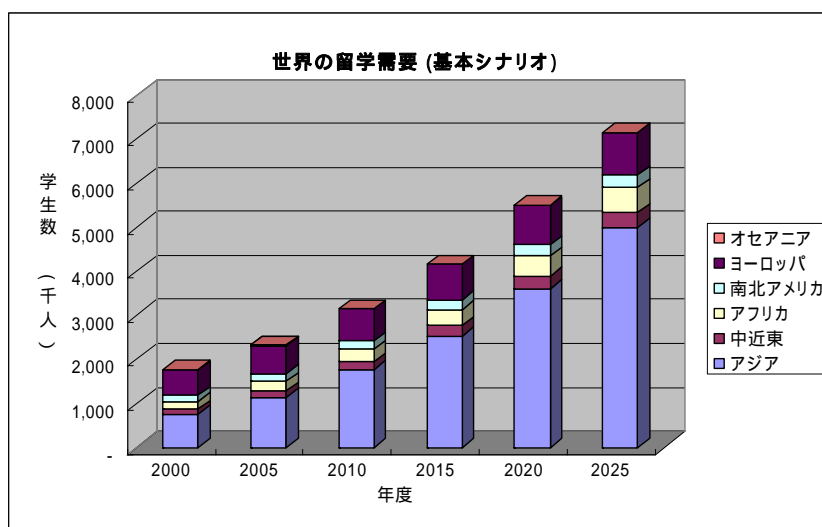
(世界の留学市場動向)

- 1 世界の留学生数は 1980 年代後半から急速に増加したが、その大きな潮流を要約すると次の 3 つである：
 - 世界的需要の加速的増大とニーズの多様化
 - 各国間の競争の激化と留学専門機関による組織的なプロモーション
 - オフショア・プログラムなど教育サービスの提供方法と技術におけるイノベーション
- 2 このような世界の動向に呼応して、日本もツイニング・プログラムなどのオフショア教育の支援・推進体制を整え、オーストラリアの IDP、イギリスの ECS、アメリカの IIE、NAFSA、IEF といった民間非営利の留学専門機関の機能を日本なりの方法で備えると同時に、それらの活動への支援体制を考える必要がある。

(世界の留学需要予測)

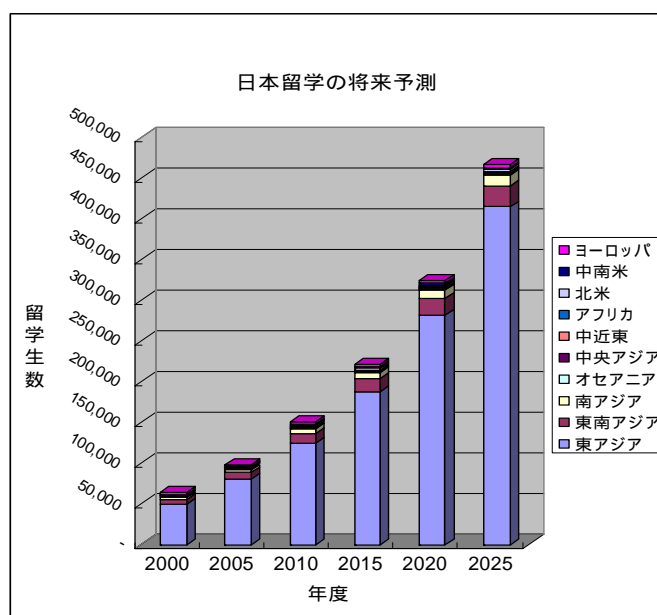
- 3 IDP Education Australia と Anthony Boehm らが開発した留学需要の予測モデル GSM2025 は、次のような考え方に基づいている。
- 4 ある国の留学需要はその国の国内での高等教育需要の大きさに密接に関係しており、その国の高等教育需要の大きさは、その国の一人当たり実質所得と高等教育に対する所得弾力性の予測がその国の高等教育就学率のレベルを決定し、その高等教育就学率と人口予測の組み合わせでその国の高等教育の需要が決まる。次に、ある国の国内での高等教育需要のうちどれだけが留学需要に回るかの割合を示す留学アクセス率は、その国の国内での高等教育システムの整備状況や一人当たり所得やその国の伝統的な留学に対する考え方などに左右されるが、このアクセス率を国内の高等教育需要に乗じて、その国の留学需要が決定される。そして、オーストラリアや日本など個々の受入国に対するその国の留学需要は、受入国のその国からの留学生の市場シェアとその国の留学需要を乗ずることによって決定される。
- 5 そのモデルに基づいて、IDP らが予測した 2025 年までの世界の留学需要は、2000 年現在の 176 万人から 2025 年には約 716 万人に、約 4 倍に増加すると計算された
- 6 この増加のうち 70% はアジアで年成長率 7.8%。そのうち 40% は中国の需要の増加で、現在の 22 万人から 2025 年にはほとんど 3 百万人、年率 11.0% の成長が見込まれる。その他にインド (年率 8.8%、8 万人から 63 万人)、マレーシア (年率 5.9%、6 万人から 24 万人)、バングラデシュ (年率 8.5%、1 万人から 9 万人)、ベトナム (年率 8.7%、1 万人から 9 万人) などが大きく需要を伸ばすと見込まれる。また、2025 年には留学生送り出し国のトップ 10 には、モロッコ、ベトナム、インドネシアがトップ 10 に入

り、日本、ドイツ、台湾、香港がトップ 10 から姿を消す。



(日本留学の需要予測)

7 GSM2025 の基礎データその他から推測すると、2000 年時点での日本の世界市場におけるシェアは 3.6%。地域別に見ると、東アジアで 11%、東南アジアで 4.4%、南アジアで 1.5%、中央アジアはゼロに近い。したがってアジア全体で 7.7%である。そのほかの地域では、中近東 0.4%、アフリカ 0.4%、北米 1.5%、中南米 1.4%、ヨーロッパ 0.4%と非常に低く、少し高いのはオセアニアが 6.1%で、東南アジアよりも高い。



8 各国別の日本留学の市場シェアが今後も変わらないという仮定のもとで、GSM2025 を利用して日本留学の 2025 年までの予測を行うと次の通り。

2000 年現在 6 万 4 千人であった留学生数が、2025 年には需要ベースで 46 万 6

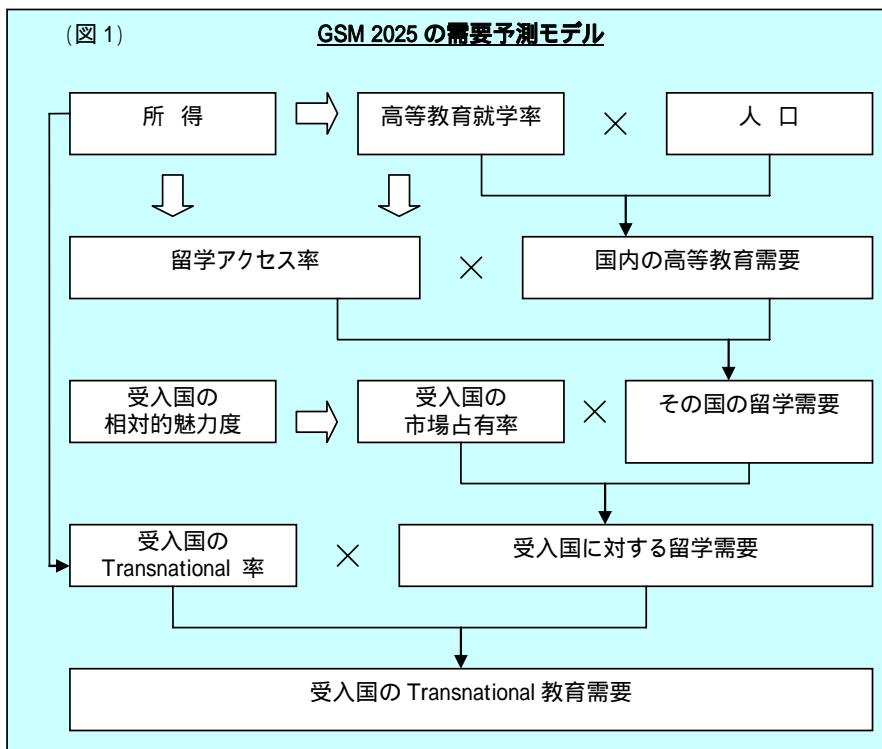
千人と約 8.4 倍になることが予想される。

世界全体での日本のシェアは、3.6%から 6.5%に増える。

そのうち、特に大きく伸びるのは中国で、現在の約 12 倍、2025 年には中国だけで 37 万 7 千人の留学生が予想される。これは日本の留学生全体の 81%にあたる。

留学生の出身国トップ 15 を見ると、上位の顔ぶれは現在と変わらない。しかし、それでも台頭が目立つのは、バングラデシュ、ベトナム、ネパール、ラオス、ミャンマー、スリランカ。インドは世界全体では中国と肩を並べる留学生大国になることが予想されているが、日本のシェアが低いため、14 位と低迷している。

- 9 ここでいった 2000 年から 2025 年の予測のうち、すでに 2004 年の実績まで明らかになっているが、2003 年及び 2004 年の日本留学の実績は GSM2025 の 2005 年の予測を上回っている。
- 10 日本の留学生市場構造を見ると、次の 3 つの地域が日本の主たる市場とみることができる。
 - 第 1 地域： 漢字圏諸国（中国、韓国、台湾）
 - 第 2 地域： ASEAN10 カ国
周辺 4 カ国（バングラデシュ、ネパール、スリランカ、モンゴル）
オセアニア諸国（オーストラリア、ニュージーランド等）
 - 第 3 地域： その他の個別重点国（インド、ネパール、アメリカ、ブラジル）
- 11 第 1 地域は、文化的にも経済的にも日本と近い漢字圏の諸国で日本留学の市場地位が高い地域。第 2 地域は、日本の海外直接投資や輸出入、政府開発援助などで日本のプレゼンスが高い地域で、第 1 地域に次いで日本留学の市場地位が高い地域。第 3 地域は、様々な理由で地域というよりは個別的に重点と見た方がよい国である。
- 12 これら 3 つの重点地域の留学生数合計は、2000 年時点では、世界の留学生数の 37.4% を占める地域でしかないが、現在でも既に世界の人口の 7 割弱（67%）をカバーしており、世界の高等教育学生数の 54.4% を占めている。そして留学生数についても、2025 年には、世界の留学生数の 65.4% を占めると予想されている。
- 13 このことを見ると、現時点での日本は、世界の留学市場ではアメリカ、イギリス、オーストラリアのような世界プレーヤーでなく、世界の留学生数の 37.4% を占めるだけの地域プレーヤーであることは事実であるが、2025 年には、その同じ市場を相手にするだけで、世界の留学生数の 7 割弱（65.4%）において比較的市場地位が高いことになる。そういう意味では、日本は国際教育市場における地域的プレーヤーの域を脱し、世界的プレーヤーになることになる。



(表2) 相対的魅力度の要因

項目	説明
教育の質 (Quality of education)	教育プロセスに関係する。教育に対する評価、学内・学外のサポート、コース提供方法のフレキシビリティや多様性、設備や教育技術、カリキュラムとその国と世界の経済・社会・政治・文化・環境的現実との整合性も含む。
職業的将来性 (Employment prospects)	この要因は教育の成果に関係する。留学国で得る学位に対する母国や世界の労働市場での価値のことで、それによって雇用を獲得する能力と留学投資に対する長期的な見返りに関することである。
コスト(値ごろ感) (Affordability)	コスト(値ごろ感)は生活費や授業料にかかるコストに対する学生の感覚に関係する。他の留学先との相対的な比較でコストが低いほどよいと考える。
安全性 (Personal security)	安全性は留学先国の安全度に対する一般的な評価に関係する。
文化的魅力 (Lifestyle)	文化的魅力はスポーツ、音楽、ファッション、ナイトライフや文化的寛容性、受容度、文化的同一性や異質性など文化的要因を含む。
教育のアクセス容易性 (Education accessibility)	教育のアクセス容易性はその国の提供する大学やコースに対するアクセスの容易さのことである。これはビザに関する規則などの国のアクセス容易性とは全く異なる。これは需要に対するバリアーなど供給サイドの問題である。

(表3) 予測シナリオ

シナリオ	一人当たり所得の成長率	人口	市場シェア (オーストラリアの場合)	その他のパラメーター
基本	中間値	国連の中間的予測	ゆっくりした市場シェアの増加	標準
高所得成長	途上国のみ中間値の25%増	国連の中間的予測	ゆっくりした市場シェアの増加	標準
低所得成長	途上国のみ中間値の25%減	国連の中間的予測	ゆっくりした市場シェアの増加	標準
AIDS	AIDS影響国(アフリカ、東南アジア)低く	国連のAIDS予測	ゆっくりした市場シェアの増加	標準

資料：GSM2025, IDP

(表6) シナリオ別世界の留学需要予測 (単位千人)

地域	2000	2005	2010	2015	2020	2025	年成長率
基本シナリオ							
アジア	759	1,141	1,761	2,534	3,598	5,004	7.8%
中近東	113	143	182	229	286	327	4.3%
アフリカ	169	219	283	362	464	561	4.9%
南北アメリカ	146	167	194	225	260	287	2.7%
ヨーロッパ	568	636	719	804	879	963	2.1%
オセアニア	8	9	10	12	13	13	2.0%
合計	1,763	2,316	3,149	4,165	5,500	7,155	5.8%
高所得成長シナリオ							
アジア	759	1,249	2,036	3,197	4,977	6,778	9.2%
中近東	113	149	195	255	325	383	5.0%
アフリカ	169	231	311	423	569	705	5.9%
南北アメリカ	146	170	202	239	280	314	3.1%
ヨーロッパ	568	648	747	842	937	1,043	2.5%
オセアニア	8	9	11	12	13	14	2.3%
合計	1,763	2,456	3,502	4,968	7,101	9,237	6.8%
低所得成長シナリオ							
アジア	759	1,062	1,571	2,193	2,954	3,859	6.7%
中近東	113	139	171	210	256	289	3.8%
アフリカ	169	210	261	322	396	459	4.1%
南北アメリカ	146	165	189	216	245	267	2.4%
ヨーロッパ	568	629	700	771	834	901	1.9%
オセアニア	8	9	10	11	13	13	2.0%
合計	1,763	2,214	2,902	3,723	4,698	5,788	4.9%
AIDSシナリオ							
アジア	759	1,126	1,704	2,433	3,472	4,823	7.7%
中近東	113	143	182	229	286	327	4.3%
アフリカ	166	210	264	327	403	470	4.3%
南北アメリカ	146	167	193	223	257	283	2.7%
ヨーロッパ	568	636	719	804	879	963	2.1%
オセアニア	8	9	10	11	13	13	2.0%
合計	1,760	2,291	3,072	4,027	5,310	6,879	5.8%

資料: GSM2025, IDP

(表7)

日本の留学生 国別・地域別実績 と市場シェア

(単位:人)

国または地域	2000年 世界の 留学生数	2000年 日本の 市場シェア	2000	2001	2002	2003	2004
			日本の留学生数の実績				
アジア	755,192	7.7%	57,938	72,197	88,664	102,089	109,520
東アジア	453,065	11.0%	49,707	63,380	79,189	91,634	98,148
中国 (+香港, マカオ)	261,233	12.4%	32,297	44,014	58,533	70,814	77,713
韓国	81,370	15.8%	12,851	14,725	15,846	15,871	15,533
台湾	42,472	9.9%	4,189	4,252	4,266	4,235	4,096
モンゴル	1,893	19.5%	370	389	544	714	806
日本	66,097	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
東南アジア	148,393	4.4%	6,551	6,891	7,409	8,094	8,507
ブルネイ	1,376	0.7%	10	15	12	19	21
カンボジア	2,079	10.1%	210	187	232	261	283
インドネシア	19,806	6.8%	1,348	1,388	1,441	1,479	1,451
ラオス	1,483	14.8%	220	167	210	236	263
マレーシア	57,463	3.2%	1,856	1,803	1,885	2,002	2,010
ミャンマー	1,757	19.1%	335	342	390	492	591
フィリピン	5,709	8.4%	480	490	483	508	525
シンガポール	30,452	0.4%	130	150	137	120	128
タイ	16,795	7.4%	1,245	1,411	1,504	1,641	1,665
ベトナム	11,473	6.2%	717	938	1,115	1,336	1,570
南アジア	109,744	1.5%	1,670	1,915	2,046	2,333	2,822
バングラデシュ	11,604	6.9%	800	805	823	974	1,126
インド	76,908	0.2%	190	235	243	264	327
ネパール	3,320	8.1%	270	283	307	344	462
パキスタン	12,044	0.8%	100	121	134	143	143
スリランカ	5,869	5.3%	310	471	539	608	764
中央アジア	43,990	0.0%	10	11	8	9	22
中近東	115,245	0.4%	490	525	584	629	610
イラン	32,382	0.5%	170	178	200	217	227
その他 (アジア+中東)	43,990	0.7%	320	347	384	412	383
	870,437	6.7%	58,428				
アフリカ	167,909	0.4%	712	872	845	914	924
エジプト	12,819	1.7%	220	253	233	255	237
その他	155,090	0.3%	492	619	612	659	687
北米	82,776	1.5%	1,241	1,360	1,450	1,553	1,712
アメリカ	33,649	3.1%	1,044	1,141	1,217	1,310	1,456
カナダ	15,414	1.3%	197	219	233	243	256
メキシコ	33,713	0.0%	0	0	0	129	133
中南米	63,009	1.4%	890	943	946	1,019	1,015
ブラジル	13,561	2.5%	340	342	347	253	330
その他	27,542	2.0%	550	601	599	766	685
ヨーロッパ	574,242	0.4%	2,220	2,389	2,523	2,759	2,974
フランス	41,989	0.5%	210	215	222	276	339
ドイツ	53,615	0.5%	250	259	273	311	315
イギリス	26,756	1.3%	340	345	344	357	351
ロシア	22,635	1.4%	320	323	331	360	366
トルコ	48,189	0.2%	110	114	133	168	157
ブルガリア	6,522	1.7%	110	113	126	123	128
ルーマニア	5,846	2.1%	120	121	126	120	118
その他	368,691	0.2%	760	899	968	1,044	1,200
オセアニア	8,486	6.1%	520	526	538	545	547
オーストラリア	6,152	5.4%	330	336	344	340	348
その他	2,334	8.1%	190	190	194	205	199
日本の留学生数合計		3.6%	64,011	78,812	95,550	109,508	117,302
世界の留学生数合計	1,766,859						

資料: 文部科学省「留学生受入の概況」及びGSM2025

(表9)

GSM2025による日本の留学需要予測

(単位:人)

国または地域	2000年 日本の 市場シェア	2000	2005	2010	2015	2020	2025	構 成 比
		実 績	2000年の国別シェア不変の前提での日本の留学需要の予測					
アジア	7.7%	57,938	91,570	142,194	211,424	312,633	453,329	97.3%
東アジア	11.0%	49,707	80,489	125,182	188,069	281,711	414,223	88.9%
中国 (+香港, マカオ)	12.4%	32,297	59,847	100,735	158,987	248,392	377,369	81.0%
韓国	15.8%	12,851	15,269	18,047	21,575	24,596	27,271	5.9%
台湾	9.9%	4,189	4,852	5,754	6,608	7,481	8,183	1.8%
モンゴル	19.5%	370	521	646	899	1,242	1,400	0.3%
東南アジア	4.4%	6,551	8,163	11,691	15,708	20,603	25,854	5.5%
ブルネイ	0.7%	10	11	12	13	16	19	0.0%
カンボジア	10.1%	210	295	458	707	1,077	1,515	0.3%
インドネシア	6.8%	1,348	1,739	2,494	3,430	4,669	6,099	1.3%
ラオス	14.8%	220	334	633	1,039	1,683	2,349	0.5%
マレーシア	3.2%	1,856	2,156	3,127	4,473	6,090	7,835	1.7%
ミャンマー	19.1%	335	594	780	1,016	1,322	1,665	0.4%
フィリピン	8.4%	480	580	695	904	1,164	1,424	0.3%
シンガポール	0.4%	130	144	172	188	202	212	0.0%
タイ	7.4%	1,245	1,459	1,876	2,548	3,171	3,817	0.8%
ベトナム	6.2%	717	1,402	2,679	3,539	4,648	5,829	1.3%
南アジア	1.5%	1,670	2,904	5,304	7,624	10,291	13,220	2.8%
バングラデシュ	6.9%	800	1,282	2,356	3,324	4,640	6,086	1.3%
インド	0.2%	190	350	670	951	1,241	1,554	0.3%
ネパール	8.1%	270	494	885	1,574	2,775	4,247	0.9%
パキスタン	0.8%	100	140	176	270	409	569	0.1%
スリランカ	5.3%	310	401	588	856	1,232	1,619	0.3%
中央アジア	0.0%	10	14	18	23	28	33	0.0%
中近東	0.4%	490	618	780	983	1,227	1,400	0.3%
イラン	0.5%	170	235	289	357	437	487	0.1%
その他	0.7%	320	383	491	626	789	914	0.2%
(アジア+中東)	6.7%							0.0%
アフリカ	0.4%	712	925	1,196	1,530	1,962	2,372	0.5%
エジプト	1.7%	220	253	314	384	469	523	0.1%
その他	0.3%	492	645	837	1,073	1,381	1,678	0.4%
北米	1.5%	1,241	1,344	1,505	1,678	1,861	1,997	0.4%
アメリカ	3.1%	1,044	1,122	1,239	1,360	1,483	1,566	0.3%
カナダ	1.3%	197	220	268	324	389	449	0.1%
メキシコ	0.0%	-	-	-	-	-	-	0.0%
中南米	1.4%	890	1,093	1,324	1,604	1,916	2,176	0.5%
ブラジル	2.5%	340	392	471	564	669	765	0.2%
その他	2.0%	550	706	824	971	1,135	1,268	0.3%
ヨーロッパ	0.4%	2,220	2,495	2,827	3,166	3,467	3,799	0.8%
フランス	0.5%	210	223	238	252	264	274	0.1%
ドイツ	0.5%	250	264	288	312	321	332	0.1%
イギリス	1.3%	340	363	388	412	436	457	0.1%
ロシア	1.4%	320	397	462	520	583	666	0.1%
トルコ	0.2%	110	112	136	177	216	253	0.1%
ブルガリア	1.7%	110	137	166	190	213	248	0.1%
ルーマニア	2.1%	120	169	219	270	310	360	0.1%
その他	0.2%	252	317	388	456	517	592	0.1%
オセアニア	6.1%	520	575	641	709	778	825	0.2%
オーストラリア	5.4%	330	367	408	449	490	516	0.1%
その他	8.1%	190	207	232	260	290	312	0.1%
日本の留学生数合計		64,011	98,621	150,468	221,093	323,843	465,899	100.0%
世界の留学生数合計		1,766,859	2,320,116	3,153,296	4,169,443	5,504,404	7,159,392	
日本の世界シェア		3.6%	4.3%	4.8%	5.3%	5.9%	6.5%	

資料: 日本の実績は文部科学省「留学生受入の概況」より、予測はGSM2025をもとに筆者が推計